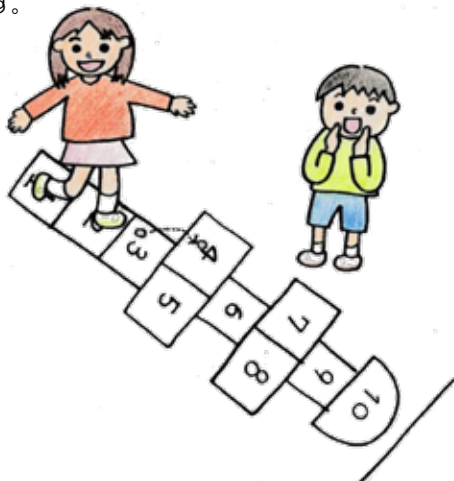


ころがして遊ぶ

思うとおりに進んでくれないおもしろさ

スポーツでは、ボールの大きさや形、弾力性の違いなどにより、多様な球技が生まれてきました。あそびも同じで、転がしたり蹴ったりしながら、いうことをきかない相手をコントロールしようと夢になります。



いろいろな伝承あそび

35 石けり

地面にいくつかの円や四角をかき、片足でとびはねながらその中に平らな小石を次々と蹴り入れて、早く全部をまわった人が勝ちとするあそび。自由にルールを変えて遊べる。

- ①10個ほどの区画を作り、1～10の番号をつける。区画は、普通は長方形や円形にするが、好きな形に変えてもOK。
- ②やや遠くに踏み切り線を引く。踏み切り線からはみ出ないように注意しながら、1番目の区画の中に上手に石を蹴り入れる（もしくは、手で転がす）。
- ③蹴り入れることができれば、続いて次の番号の区画に石を蹴り入れ、この手順を最後まで繰り返す。蹴った石が正しい範囲に収まらなければ失敗。石はその区画において相手にターン（順番）を譲る。
- ④全ての区画をまわり終えたら、踏み切り線の外側に石を蹴り出してゴールとなる。最後の区画に達した人の勝利！！

【検索：どこいき、もってき、丸とび、かいく、かたつむり、ヒョウタン、石けり鬼】

36 どんぐりコロコロ

いろいろなどんぐりを拾い、坂道や斜面などに転がすあそび。ゴールに器をおいて、入るかどうかを競ったり、どこまで転がるかを競う。

37 新聞紙モップリレー

新聞紙を丸め、テープでとめて球をつくり、モップ（デッキブラシでも可）をつかって転がして運ぶあそび。手で触ってはいけない。チーム戦でもできる。

38 ガムテープ転がし

ガムテープを手を持って、転がすあそび。急に曲がったり、ずーっとまっすぐに進んだり、その変化がおもしろい遊び。

- ・ペットボトルなどを数本ならべ、ボーリングのようにピンを倒すゲーム。
- ・体育館など広い場所で「誰が一番遠くまで転がせるか」を競う。
- ・向かい合って、せーの！で投げて、お互いのガムテープをぶつけるあそび。
- ・ゴルフのように、止まった地点から転がして、何回でゴールできるかを競う。

39 ピンポン指サッカー

机や床の上を、木や牛乳パックなどで囲い、小さなサッカー場とゴールをつくる。そして、ピンポン玉をサッカーボールの代わりにして、指だけでサッカーをする。

40 ボール送り

頭の上で後ろの人にボールを渡していくあそび。

- ①チームに分かれて、一列に並び、手を挙げて待つ。
- ②先頭からボールを転がし、一番後ろの子まで、ボールを送っていく。
- ③途中で、ボールを落としたり、ボールを拾いに行き、落としたり所から再開する。
- ④一番後ろの子がボールを受け取ったら股の下からボールを前にまわす。
- ⑤一番早く、先頭の子までボールを送ったチームが勝ち。

【検索：大玉おくり、風船おくり、モノ送りリレー】

41 キックベースボール

サッカーボールを蹴って、野球のルールで遊ぶ。基本的なルールは野球と一緒に。

- ・サッカーボールやビーチボールのような、大きいボールを使う。
- ・広い場所をえらぶ（壊れるものがないか確認する）
- ・バッターボックスは、2、3歩助走を付けられるように、少し大きめにする。
- ・1～3塁ベースをつくる（1～2塁の三角ベースでもOK）
- ・2チームに分かれて、先攻と後攻を決める。
- ①ピッチャーはバッターに向けて、下手投げでボールを転がす。
- ②バッターは投げられたボールを足で蹴り、とばす。
- ③フライのキャッチやボールをもってベースを踏むとアウト。ランナーにボールをぶつけてもアウト。

【検索：フットベースボール、キーパー、ケッチ、蹴り野球、キックボール】



ビー玉の三角出し

いろいろな大きさや色、模様があり、集めるだけで楽しい！

基本ルールは、自分のビー玉を弾いて相手のビー玉にぶつけて遊びます。ぶつけることによって玉の所有権の移動が発生し、ぶつけられた玉はぶつけた者の所有となります。また、単にぶつけることだけを目的とし、所有権の移動が発生しない取り決めのもとに遊ぶ場合もあります。

<必要なもの>

ビー玉(各自数個)

線をかく棒やペン など

<いろいろなはじき方>



42 ビー玉の三角出し



①地面にビー玉が数個入る三角形(枠)と、少し離れた所にラインをかく。参加者の年齢や技術に応じて変える。



②参加者は、同じ数のビー玉を出し、そのすべてのビー玉を三角形(枠)に散らばせて入れる。



③次にジャンケン等で順番を決め、勝った人からビー玉を弾いて枠内のビー玉を外に出す。



④うまく命中させることができれば、外に出たビー玉は自分のものになる。もしビー玉同士をぶつけることができなかつた場合は、交替する。



⑤もし、投げた手玉が三角形(枠)の中に入ってしまった時は、出したビー玉はもらえるが、手玉はそのまま置いておく。他の参加者がそれを当てて出せば、その人のものとなる。



⑥ビー玉が全部三角(枠)の外に出たら、そこでゲームは終了(回数や時間制限でもよい)。

まだまだ、いろいろあるビー玉あそび！

43 ポリ 穴に投げ入れるゴルフのようなあそび

- ①数箇の穴を作り、入れる順番を決める（穴に番号をかいてもよい）。
- ②スタートラインを引き、各自1個ずつビー玉を線上に並べる。
- ③じゃんけんなどで順番を決め、スタートラインから順に、穴に転がす。
- ④穴に入ったら、続けて次の穴を目指す。
- ⑤穴に入り損なったらビー玉はそのままにし、次の順番がきたらそこから穴に入れる。
- ⑥最後の穴に早く入れた人が勝ち。

44 目玉落とし 自分の目の高さからビー玉を落として、床にあるビー玉に命中させる

- ①相手のビー玉が両足の中央に位置するように、真上に立つ。
 - ②下を向いた姿勢で、自分のビー玉をつまみ、相手のビー玉にねらいを定めて、落とす。
 - ③相手のビー玉に当たれば勝ちとなり相手のビー玉がもらえる。当たらなかったら交代。
- *はじめに地面に円をかくて、そこから転がり出たらもらえるというルールでもよい。

45 流しビー玉 流しそうめんならぬ流しビー玉。ビー玉を竹の上部から転がす

- ①縦に半分に割った竹(節なし)や雨どいなどを数本用意する。
- ②流しそうめんのように、それらをつなげ、最後に容器（鍋やカップなど）を置く。
*それぞれの容器に点数を決めてもよい。
*途中で木琴や鈴などの音のなるものを設置すると盛り上がる。
- ③スタートからビー玉を数個落とし、容器に入った数(点数)を数える。

ビー玉の語源

語源は「ビードロ玉」（ビードロ *vidro* : ポルトガル語でガラスを意味）の略とされています。ラムネの瓶の栓として使用するガラス玉の等級を、かつて「A玉・B玉」と呼んで区別し、このうち規格外品である「B玉」をおもちゃに転用したものであるという説も存在します。

ビー玉の呼び方は地方によって様々で、近畿地方の一部では「ピータン」と呼び、山陽地方や瀬戸内海の島々では、「マーブル」「マープロ」「ピーごろ」「ラッコー」「ラッター」と呼んだ地域もあります。

あそびの
雑学

